

2023年度アンケート報告
@石川県診療放射線技師会

タスクシフト・タスクシェアについて

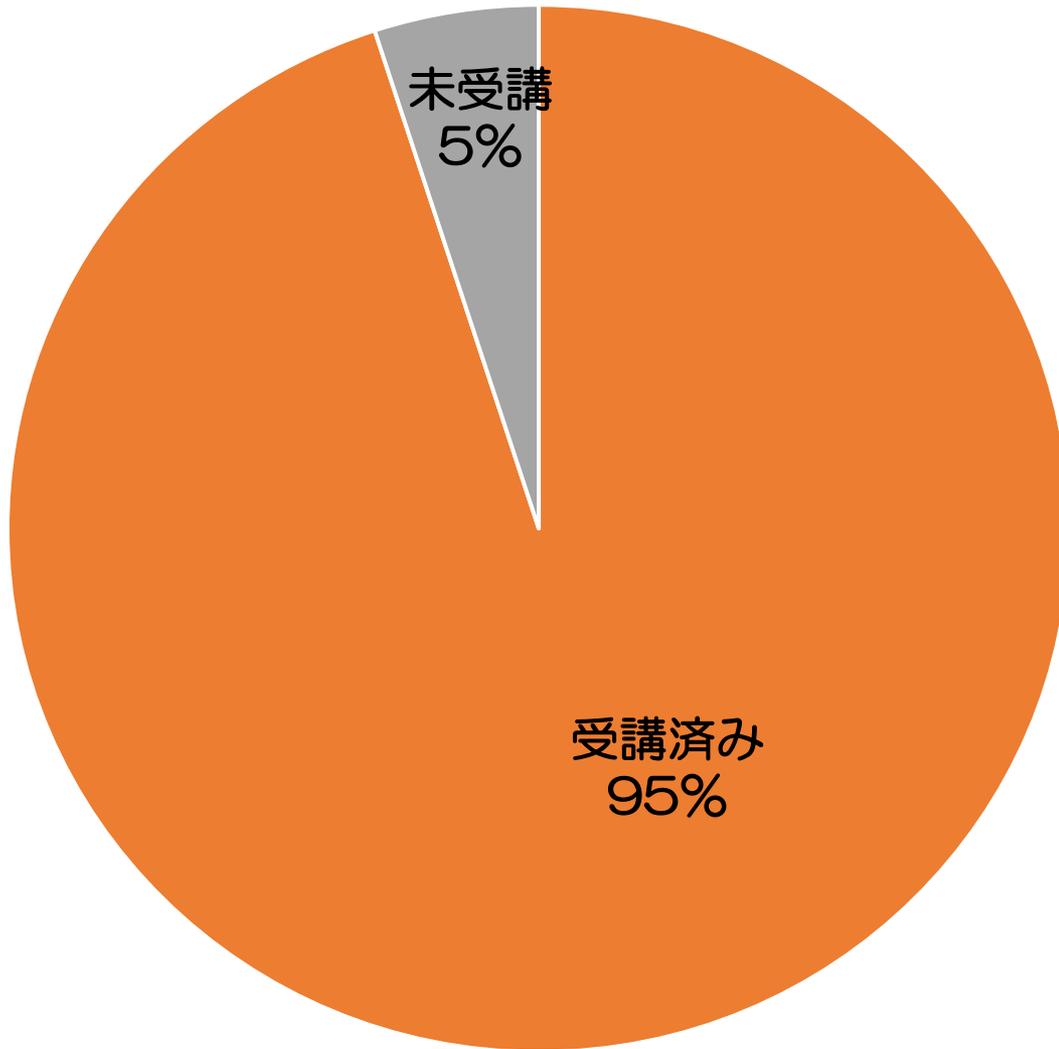
期間：2023年12月～2024年2月

目的：石川県でのタスクシフト・シェアの現状を把握し、推進する

アンケートの設問

1. 告示研修は受講しましたか
2. ご所属の施設で、タスクシフト・タスクシェアは行われて(または計画されて)いますか
3. どの検査で行われて(または計画されて)いますか
4. 具体的にどのようなことをしていますか
5. タスクシフト・タスクシェアを進めてみて、どのように感じていますか
6. タスクシフト・タスクシェアを進めるうえで、人員増加等ありましたか
7. タスクシフト・タスクシェアを進めるうえで、告示研修以外で講習会や練習の機会は設けられましたか
8. タスクシフト・タスクシェアを進めるうえで、必要になり調達したもの・工夫点または実際やってみての反省点などあればお聞かせください
9. タスクシフト・タスクシェアに関して、ご意見・コメント等ありましたらご自由にご記入ください

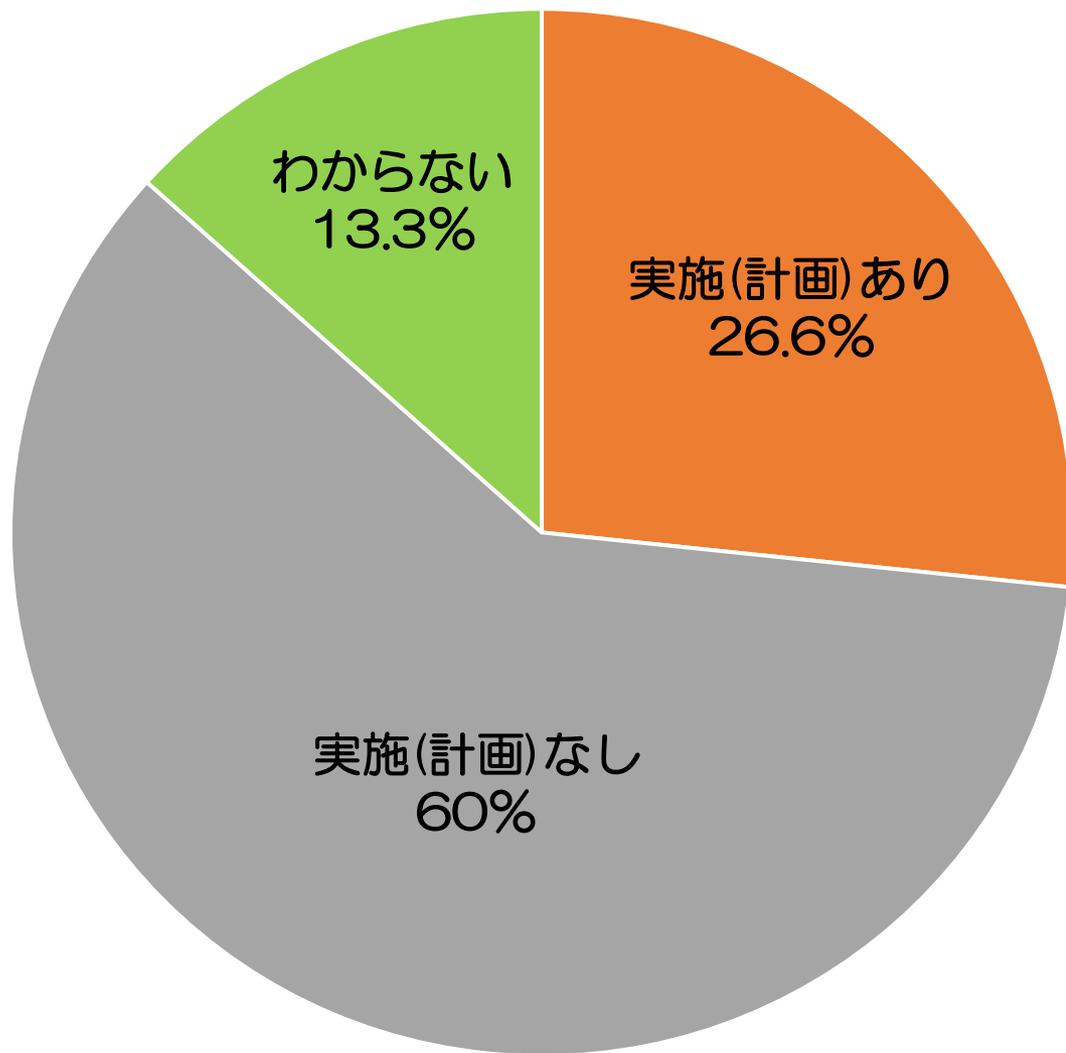
告示研修の受講状況



アンケートに回答した方の中では受講は進んでいる

業務拡大の有無に関わらず、未受講の方がいなくなるように働きかけていく

タスクシフト・タスクシェアの進行状況



回答があった15施設のうち
およそ4分の1の施設で、
タスクシフト・シェアが進め
られている

実施されているモダリティ・具体的業務等

タスクシフト・シェアが行われている4施設での比較

	施設A	施設B	施設C	施設D
モダリティ	MR	CT・RI・AG	CT・MR	CT・MR・RI・AG
具体的な業務	MRI造影剤投与	静脈路確保 動脈路の インジェクター接続 抜針	静脈路確保	MRI造影剤・RI薬剤投与 動脈路の インジェクター接続 抜針
技師数	増員なし	増員なし	増員なし	増員なし
講習・練習等	なし	あり	あり	あり

4施設中2施設で、静脈路確保を行っている
タスクシフト・シェアが行われているいずれの施設でも、人員の増員はない
静脈路確保などの業務を取り入れ始めた施設では、
タスクシフト・シェアを行うきっかけとして、抜針から初めているという施設もあった

タスクシフト・タスクシェアを進めて どのように感じているか

- ◆ 業務の効率が上がった
- ◆ タスクシフトとまではいかない。業務負担は確実に増えている
- ◆ スタッフ間で意識に差があり、静脈穿刺に関してはまだ施行していない
- ◆ 一人で静脈穿刺を行う場合、負担が増し時間的な余裕がなくなるため、血管が細い方や一度目で失敗した方では看護師を呼ぶようにしている
- ◆ 静脈穿刺に関しては、ある程度慣れるまで専任が必要だと感じる
- ◆ 慣れるまで時間がかかる。現状の静脈穿刺施行頻度は数日に一回程度なので、長い目でみる必要があると感じる

タスクシフト・タスクシェアに関してのご意見

- ◆ 他部署との話し合いが大切
- ◆ 業務教育が大切
- ◆ 静脈注射はやはりハードルが高い印象。やってもよいと申し出ているスタッフを対象に、まずはRIにおける静脈注射から始めていきたい
- ◆ 現在タスクシフトがうまくいっている施設の報告例がいくつかみられるが、逆に問題点や苦情など（例えば、技師の人員が豊富でないところで業務に支障をきたした事例 等）ネガティブな事例もきいてみたい
- ◆ タスクシフトが成功した施設の経験などをたくさんきき、参考にしたい
- ◆ 院内では、来年度入ってくる看護師と一緒に研修を受けようという案がでている
- ◆ マンパワーが確保できる状態なら、いずれ可能と考え病院側にアピールしている
- ◆ 告示研修を受講していない技師がいるため、タスクシフトを進められない
- ◆ 告示研修は法令で定められた研修なので、職場環境とは関係なく受講すべき

まとめ

- ◆ タスクシフト・シェアを進めるためにも、告示研修の受講は必須
→法令で定められている研修なので、受講しましょう
- ◆ 県内では少なくとも4つの施設でタスクシフトが進められている
その他でも第一歩として、抜針からはじめてみる施設もあった
- ◆ タスクシフトが進んでいるいずれの施設でも人員の増員はなかった
- ◆ 静脈注射に対しては、スタッフ間で意識の差がある
→どのようにして意識を前に向けていくのかも、課題となりそう
- ◆ 安全に遂行するには、看護師をはじめ他部署の協力が必要不可欠